

平成 29 年 5 月 31 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 湯浅 博



記

事業の名称	防犯カメラ新規設置事業
事業実施前の状況	一部死角になっていたところ、及び、犯罪者の逃走経路抜けモレが有り。
事業実施後の状況	少しずつではあるが、犯罪者の逃走経路の減少及び、設置していると言うだけで、犯罪件数の減少、並びに犯罪者の早期逮捕につながる情報が集まりやすくなった。
事業の効果	開示請求回数が増え、検挙率がUP。
今後の課題等	設置カメラの電源確認（定期的な巡回）を実施

平成 29 年 5 月 31 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 湯 浅 博



記

事業の名称	防犯カメラ維持管理(新規設置)事業
事業実施前の状況	一部死角になっていたところ、及び、犯罪者の逃走経路抜けモレが有り。
事業実施後の状況	設置個所も増え、安全で安心な暮らしが出来る。又、第三の目（者）による期間中（夏休み/大型連休）の見守りが可能となる。
事業の効果	開示請求回数が増え、検挙率がUP。
今後の課題等	リースのような、安価な設投で、管理費の低減。

平成 29 年 5 月 31 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 湯浅 博



記

事業の名称	地域防災体制強化事業（防災備品整備/花園会館）②
事業実施前の状況	防災備品が無かった。
事業実施後の状況	少量ではあるが揃えられた。
事業の効果	効果あり。 防災訓練及び災害時に備品をフル活用出来る。
今後の課題等	地域の特性を考慮しながら、備品を増やしたり、定期交換を実施しながら、うまく運営をする。

平成 29 年 5 月 31 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 湯浅 博



記

事業の名称	地域防災体制強化事業（避難訓練/防災備品整備）③
事業実施前の状況	緊急時に誰が何をすべきなのか不明確であった。
事業実施後の状況	組織網の整備及び、緊急時の対応（訓練ではあるが）が出来た。
事業の効果	地域住民及び学校等の協力の基、連携をしながら訓練も出来た。
今後の課題等	各種の災害及び時間帯に即対応出来るか、訓練内容（夜間含め）を変えつつ継続実施する。

平成 29 年 5 月 31 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 湯 浅 博



記

事業の名称	AED管理事業
事業実施前の状況	期限切れ、及び、バッテリーへの不安あり。
事業実施後の状況	機器への不安解消
事業の効果	緊急時、安心して使用が可能。
今後の課題等	幸いにも、殆ど出番がなく、使用方法がわかる経験者（訓練実施者）が減りつつある中、AEDに替わる一番有効な心臓マッサージ方の訓練がいつでも出来る機材の設置。

平成 29 年 5 月 31 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 湯浅 博



記

事業の名称	地域防災体制強化事業（避難訓練/防災備品整備）①
事業実施前の状況	緊急時に誰が何をすべきなのか不明確であった。
事業実施後の状況	組織網の整備及び、緊急時の対応（訓練ではあるが）が出来た。
事業の効果	地域住民及び学校等の協力の基、連携をしながら訓練も出来た。
今後の課題等	各種の災害及び時間帯に即対応出来るか、訓練内容（夜間含め）を変えつつ継続実施する。

平成29年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 湯浅 博



記

事業の名称	地域コミュニティ紙発行事業
事業実施前の状況	年間各部が行う事業内容を住民にPRすることでコミュニティの存在と役割を知ってもらう為に行う事業。
事業実施後の状況	年間2回の発行、旭丘と石橋地域がお互いの地域コミュニティの活動内容と地域性を少しずつ知ってもらえた。
事業の効果	紙面を通して地域に必要なニュース、学校と地域のつながり、「詐欺」に引っかからない等、PR出来た。
今後の課題等	地域コミュニティの中の事業が継続型が多い、紙面が報告の記事ばかりになる、話題性のあるものを扱いたい。

2016年 10月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
 会長名 湯浅 博



記

事業の名称	地域内会館備品整備事業
事業実施前の状況	石橋地域内の各種ボランティア団体が会議資料やチラシを各々がコンビニ等でコピー費用や時間が掛かっていた。
事業実施後の状況	会議資料作成費用と時間が軽減された。 各団体の用具類を責任者宅保管から一括管理できて、交代の都度移動する手間が省かれた。
事業の効果	各団体の印刷費用、時間が軽減され、より活動が活発に経費や時間がその他の活動に生かされることが出来た。 団体の道具類も分散保管や散逸を回避され責任者の負担軽減が計られた。
今後の課題	当機の設置場所が2階廊下の為、印刷音が他部屋に響き近隣の部屋の使用者からクレームを受けることがあるため設置場所を考えたい。

以上

平成 29 年 5 月 31 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 湯浅 博



記

事業の名称	地域コミュニティ推進協議会啓発活動
事業実施前の状況	何処の誰が企画し行事等実施しているかわからなかった。
事業実施後の状況	のぼりや横断幕を見ることにより認知度が上がっている。 又、行事へ自ら参加してみようとする人員が少し増えた。
事業の効果	効果あり。 のぼり及び横断幕をフル活用する。
今後の課題等	決まった役員のための定番企画であり、自ら参画しての新しい企画提案及び自主参加率が低いため、もっと多くのPRが必要。

2016年 10月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
会長名 湯浅 博



記

事業の名称	地域行事等活動促進事業（納涼大会）
事業実施前の状況	当事業も地域内の活動が浸透し、年毎に参加者が増加し狭い、照明が暗いとの意見が寄せられて、厳しい状況が続く中、電気設備や備品の老朽化に苦慮していた。
事業実施後の状況	公園周囲や櫓周りに、目立つようにポール、コーンを配置し安全意識を喚起することで、大きな事故もなく終えられた。
事業の効果	運営を手伝う人、石橋小、中学校の先生方や夜店参加する団体、参加者が年々増加し、盛大に行われコミュニティ活動行事が充実した。
今後の課題	櫓の老朽化が進み、設営、解体に難儀することが多く、新調、購入して用具類の充足を図る必要がある。


以上

<様式4号>

平成29年 4月 / 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
代表者名 湯浅 博 


記

事業の名称	地域の美化整備事業①
事業実施前の状況	①啓発ポスター100枚作成 反響はる破損有り ②タバコの吸い殻 通学路を含む一般道 多く散乱 ③美しい街づくりポスター1200枚作成 毎年雑草、枯れ木当然発生、敷地内、溝、道路脇汚れてる
事業実施後の状況	前年度より破損枚数減少 年間ポスターのメンテ47枚 新規貼り付け箇所6箇所 タバコの吸い殻確認は難しい 小学校で校外学習の一環として校区内箇所清掃奉仕 をしてもらう。タバコの吸い殻だけでも3日間で650本以上 捨てた人の無気嫌が嘆かぬわい。 自覚はこれなりにキツイになった。
事業の効果	メンテ作業と新規貼り付け箇所増の効果を上げる 携帯灰皿配布を続行してタバコを吸う大人の自覚を促したい。 美しい街づくりに共鳴して頂き敷地内の美化意識 が定着して来た。
今後の課題等	3つの美化整備事業は、各々の自覚を促すために 引き続き続行する。

平成29年5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域ゴミ資源推進協議会
会長名 湯浅 博 

記

以上


事業の名称	リサイクル活動事業
事業実施前の状況	一般の燃えるゴミとして処分されていたペットボトルキャップ資源意識が低く、ゴミの減量意識もなかった。
事業実施後の状況	数年続けている中で住民のリサイクル意識の向上がみられる。キャップ(全国)はクワカへの方向が多い中、国内でのリサイクル活動を通じて身近なリサイクルとなっている。
事業の効果	回収量は昨年より減ったことは、市内あちこちで回収活動が活発によるものと考えられる。容器施設の増加、プランター以外のペットの商品は更にPRとなる。
今後の課題等	キャップ回収活動から地域の境環を考える切掛けになり美しい地域、場所となることをめざす。

<様式4号>

平成29年 4月 1日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
代表者名 湯浅 博 

記


事業の名称	(公園整備事業) 地域美化整備事業②
事業実施前の状況	公園の花壇、前年度拡張した、ロープボックス等歪み有り 花が枯れ、落葉も花壇にうもれて来た。 地域の幼稚園、小学校、中学校、施設へ花の鉢贈呈。
事業実施後の状況	花壇整備破損分は 取り替えた。 前年の花の根、落葉除去。 春、秋の花の苗植え付けた。 石橋保育所、石橋中学校、石橋荘、白鳥荘、セゾン ルジ池田、花咲21、異老荘の各施設へ花の鉢3セット贈呈 石橋小学校、花の苗50株贈呈、石橋公園内16鉢設置
事業の効果	公園の花が咲くと通りがりの皆さん満足されていた 各施設からは、喜んでいただけました。 施設の道路側に設置依頼もしていただきました。 石橋公園内設置も花壇同様満足していただきました。 ペットボトル事業と花の鉢と、うまく合体出来ました。
今後の課題等	現在石橋公園の花壇/箇所、今後2、3箇所と増したい 他の施設からも要望有り。 次年度以降も規模を大きくしていきたい。

<様式4号>

平成29年 4月 1日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
代表者名 湯浅 博 

記

事業の名称	公園整備事業
事業実施前の状況	公園の花壇、前年度拡張した、ロープブロック等歪み有り 花が枯れ、落葉も花壇にうもれて来た。 地域の幼稚園、小学校、中学校、施設へ花の鉢贈呈。
事業実施後の状況	花壇整備破損分は 取り替えた。 前年の花の根、落葉除去 春、秋の花の苗植え付けた。 石橋保育所、石橋中学校、寿荘、白鳥荘、セゾン カレッジ池田、花咲21、異老荘の各施設へ花の鉢3セット贈呈 石橋小学校、花の苗50株贈呈、石橋公園内16鉢設置
事業の効果	公園の花が咲くと通りかりの皆さん満足されていた。 各施設からは、喜んでいただけました。 施設の道路側に設置休憩もしていただきました。 石橋公園内設置も花壇同様満足していただきました。 ペントビル事業と花の鉢と、うまく合体出来ました。
今後の課題等	現在石橋公園の花壇/箇所、今後2、3箇所と増したい。 他の施設からも要望有り。 次年度以降も規模を大きくしていきたい。

平成 29 年 5 月 3 / 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 湯 浅 博



記

事業の名称	安全モラル啓発
事業実施前の状況	自転車も軽車両であるという認識も乏しく、標識の見方及び自転車の正しい操作方法等知識不足である。
事業実施後の状況	幾分か理解できたと思われるが、当日だけであり、翌日以降実施できているかと言うと定かではない。継続訓練が必要である。
事業の効果	即効性は無いが、毎回実施することが必要と考える。又、子供達だけではなく、家族全員の協力が必要であり、特に指導しなければいけない両親（特に母親）、おじいちゃん/おばあちゃんの運転マナーの悪さが目につく。
今後の課題等	子供達を中心に継続実施はするが、指導者である両親・おばあちゃん及びおじいちゃんへの指導が急務と思われる。他、保険への加入促進、並びに自転車の点検等地域の自転車店様のご協力の基、展開が必要である。

様式第4号

2016年 10月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
会長名 湯浅 博



記

事業の名称	子ども見守りパトロール隊強化事業
事業実施前の状況	23年度に安全員用にジャンパー式を作成したが夏には着用が難しく私服で行い、通行人に埋没して子ども（児童）や安全員共に危険な状態であった。
事業実施後の状況	初夏から初秋用に赤色ベスト型を作成した。 遠くからでもはっきりと見守り活動が判別できるようになった。
事業の効果	色が赤く目立ち、涼しく着用することが出来、車や自転車の人たちからもはっきり分かるので危険回避出来る。 地域コミュニティ推進協議会やいしばし学園の周知を計れている。
今後の課題	見守り員と子ども（児童）等にも分かり易くなったので安全確保に努め、挨拶や交通ルールをしっかりと指導を行っていきたい。

以上

様式第4号

2016年 11月30日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
会長名 湯浅 博



記

事業の名称	異学年交流事業
事業実施前の状況	子ども会、PTA、地域の人（校区内にあるボランティア団体）は個々に活動をしているが、共に協働で活動する機会があまり無く交友が希薄になりつつあった。
事業実施後の状況	子ども達や若い保護者、地域の人達、高齢者住民とが準備会議や事前準備、当日の運営を手助け等会う機会が増え顔馴染みになり挨拶する光景が増えた。
事業の効果	交流事業で多くの人から協力の申し出があり、多くの人に参加して頂き、美味しく、楽しく、可笑しく、参加者全員が楽しい時間が過ぎた、今後も継続的に開催して欲しいとの要望する声が多くあった。小学校耐震工事関係者からも照明等の協力を得た。 来場数約750名
今後の課題	交流事業の認知度が上がり多くの人に参加して頂けた。参加者が花火を楽しみにされているため、中弛みに配慮して、より家族ぐるみで参加出来る事業内容としたい。

以上